

平成 26 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査

江別市における調査結果について(小・中学校)



江別市教育委員会

平成 26 年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

子どもの体力が低下している状況にかんがみ、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査対象学年

小学校第 5 学年及び中学校第 2 学年

3. 調査の内容

①児童・生徒に対する調査

ア、実技に関する調査（測定方法等は新体力テストの方法による。）

〔小学校 8 種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

〔中学校 8 種目〕握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走／20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ
(持久走か 20mシャトルランのどちらかを選択)

イ、質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査

②学校に対する質問紙調査

ア、学校の体力向上に関する取組の調査

イ、実施状況に関する調査

4. 調査期間

平成 26 年 4 月から 7 月末までの期間で実施

5. 参加状況（公立）

| | 小学校 | | 中学校 | |
|-----|-----------|---------------|----------|---------------|
| | 学校数 | 児童数 | 学校数 | 生徒数 |
| 全 国 | 20, 447 校 | 1, 076, 795 人 | 9, 947 校 | 1, 000, 415 人 |
| 北海道 | 1, 110 校 | 43, 465 人 | 639 校 | 41, 758 人 |
| 江別市 | 19 校 | 1, 033 人 | 8 校 | 1, 046 人 |

6. 用語解説

| 体力テスト種目 | 単位 | 体力要素 | 測定 |
|------------------------------------|--------|---|---------------------------------------|
| ① 握力 | kg | 筋力 | 左右握力の平均値. |
| ② 上体起こし | 回 | 筋パワー・筋持久力 | 30秒間に上体を起こした回数. |
| ③ 長座体前屈 | cm | 柔軟性 | 長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離. |
| ④ 反復横とび | 点 | 敏捷性 | 20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数. |
| ⑤ 20mシャトルラン 持久走 (中学校選択) | 回 秒 | 全身持久力 持久走 | 20m走行の折り返し回数. 男子1500m、女子1000mの走行時間 |
| ⑥ 50m走 | 秒 | 疾走能力 | 50mの疾走時間. |
| ⑦ 立ち幅とび | cm | 筋パワー・跳躍能力 | 両脚で前方へ跳躍した直線距離. |
| ⑧ ソフトボール投げ (小学校) ハンドボール投げ (中学校) | M M | 巧緻性・投球能力 巧緻性・投球能力 | ソフトボールを遠投した距離. ハンドボール2号球 |
| 体力合計点 | 点 | 8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点. | |
| 総合評価 | 5段階 | 8種目の体力テストの合計得点をABCDEの5段階で評定した体力の総合評価 | |

| 用語 | 解説 |
|------|---|
| 標本数 | 平均値, 標準偏差, T得点を算出した人数. |
| 平均値 | 調査結果 (テスト成績) の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す. 「平均値=調査結果の総和/標本数」 |
| 標準偏差 | 調査結果の個人差の大きさを示す. 平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る. 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る. 「標準偏差=分散の平方根, 分散=偏差平方和/(標本数-1), 偏差平方和=偏差の平方の総和, 偏差=調査結果-平均値」 |
| T得点 | 全国平均値に対する相対的な位置を示し, 単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する. 平均値50点, 標準偏差10点の標準得点. 「T得点=50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」 |

* 公立校の全国・都道府県の値は, 公立校を対象としたものです。

* 国立校および私立校の全国の値は, 国立・公立・私立校を対象とし, 都道府県の値は表示されません。

<標準体重と肥満度判定> 「児童・生徒の健康診断マニュアル (改訂版)」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

$$\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$$

$$\text{肥満度 (\%)} = [\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}] \div \text{標準体重 (kg)} \times 100$$

標準体重を求める係数

| 年齢 | 男子 | | 女子 | |
|---------|-------|--------|-------|--------|
| | a | b | a | b |
| 9 (小4) | 0.687 | 61.390 | 0.652 | 56.992 |
| 10 (小5) | 0.752 | 70.461 | 0.730 | 68.091 |
| 11 (小6) | 0.782 | 75.106 | 0.803 | 78.846 |
| 12 (中1) | 0.783 | 75.642 | 0.796 | 76.934 |
| 13 (中2) | 0.815 | 81.348 | 0.655 | 54.234 |
| 14 (中3) | 0.832 | 83.695 | 0.594 | 43.264 |

判定基準

| 肥満度 | 判定 |
|---------------|-------|
| 50%以上 | 高度肥満 |
| 30~49, 9% | 中等度肥満 |
| 20~29, 9% | 軽度肥満 |
| -19, 9~19, 9% | 正常 |
| -29, 9~-20% | やせ |
| -30%以下 | 高度やせ |